

令和6年度 総合教育会議 議事録（要点筆記）

■日時：令和7年2月26日（水）15：30～16：30

■場所：日向市役所本庁2階 災害対策本部室

I. 会議出席者

■総合教育会議委員

＜日向市長＞西村 賢 ＜教育長＞今村 卓也

＜教育委員＞垣内 正俊、是澤 利保、黒木 智美、児玉 広美

■事務局

＜教育委員会＞堀田教育部長 （教育総務課）大平課長、三窪係長 （学校教育課）若杉課長

＜総合政策部＞濱田総合政策部長（総合政策課）麻田課長、黒本課長補佐、野村主任主事

■傍聴者・報道機関（1名）

II. 配布資料

会次第

資料1 日向市総合教育会議設置要綱

資料2 日向市総合教育会議（説明資料）

資料3 第3向日向市総合計画について

資料3－2 第3向日向市総合計画（重点戦略抜粋）

資料3－3 第3向日向市総合計画（基本計画抜粋）

資料4 日向市教育大綱（案）

※資料はすべて事前配布。

III. 会議内容

1. 開 会（省略）

2. 市長あいさつ（省略）

3. 協議事項

（1）日向市教育大綱の改訂について

（2）その他

IV. 協議事項の主な内容

(1) 日向市教育大綱の改訂について

(事務局)

資料2～資料3-3に基づき、第3次日向市総合計画について説明。

(市長)

- 委員の皆様からご意見や感想等を頂きたい。

(教育委員)

- 前回の総合教育会議の際、将来像に「笑顔」のキーワードが入っていたかと思う。最終的に変更となった経緯等があれば伺いたい。

(事務局)

- 総合計画の策定に際し、総合計画審議会で審議を行ってきたところ。議論を重ねる中で「賑わい」と「共創」を重点として整理したことで最終的に「笑顔」のキーワードはなくなった。

(教育委員)

- 今後、日向市内で優秀な人材を育てることや人材が地域外に出ても戻って来られるかが重要なポイントと感じており、地域ビジョンについてとても良いと感じた。

(教育委員)

- 先日、小中学生のこどもの意見交換会に参加したが真剣に議論を重ねていた。総合計画の将来像の実現に向けて、大人とこどもが取り組んでいけると良いのではないかと感じた。

(教育委員)

- 地域ビジョン、とても良いと感じた。また、こどもファーストのまちを実現するためにも教育大綱や各施策にどう繋げていくかが重要なことではないかと感じた。

(事務局)

資料4に基づき、日向市教育大綱（案）について説明。

(市長)

- 委員の皆様からご意見や感想等を頂きたい。

(教育委員)

- 目まぐるしく変化する社会の変化に対応できるこどもの育成は大事だと日頃から感じているところだが、今回の大綱についてもそれが盛り込まれており、総合計画の内容が大綱に反映されていると感じた。

(教育委員)

- ふるさとを思う心を持ち、それぞれが同じ方向を向いて取り組むことが重要だと感じている。特に、基本方針2「生きがいや充実感を得られる生涯学習社会づくり」と基本方針3「多様で個性豊かな文化の創造」については、学校教育だけでは成り立たないものであり、家庭教育と社会教育の連携も重要だと感じている。

(教育委員)

- 基本方針4「人権と平和を尊重する人づくり」について、日向市の取組は素晴らしいと感じている。特に今年度は一生懸命研修に取り組んでおり、そういった大人の姿をこどもたちにもわかってもらいたいと思う。

(教育委員)

- 基本方針1「未来を担う心豊かでたくましい人を育む基盤づくり」には三位一体の取組が含まれている。こどもたちの教育を今後どうしていくのかが重要だと感じた。

(教育長)

- 総合計画と教育大綱についてはうまく整合を図って頂いたと感じている。基本方針3「多様で個性豊かな文化の創造」については文化の取組が色濃くなったことで、今後、教育委員会としてどのように取り組んでいくのかが課題だと受け止めている。

(教育長)

- 「未来を切り開く」の“開く”については、国の基本的な方針では“拓く”としているところ。“開く”とした意図を伺いたい。

(事務局)

- “開く”は、困難を切り開く、といった意図を込めたところ。委員の皆様からご意見を頂きたい。

(教育委員)

- 言葉のイメージだが、“開く”はあるものをひらく、“拓く”はないものをつくるといったイメージがある。総合計画の「共創」という言葉からすると“拓く”が合っているかと感じた。

(市長)

- 他の委員も同様の意見であることから、“拓く”に修正してもよろしいか。

(全委員)

- 異議なし。

(教育長)

- 大綱の中で、“こども”は平仮名で表記されているが意図を伺いたい。

(事務局)

- こども家庭庁の通知を参酌し、第3次日向市総合計画の中でも“こども”表記で統一していることから大綱についても“こども”で統一したところ。

(教育長)

- 大綱中に、“こども”と“児童生徒”が混在しているが統一等はしなくてもよいか。

(事務局)

- 「日向市教育大綱に基づく主な施策」では、毎年度教育委員会で見直しを行って策定を行っている。“こども”と“児童生徒”についてはその事業の内容に応じて使い分ける必要があると考えており、教育委員会と協議をした上で使い分けたいと考えている。

(教育委員)

- 基本方針3「多様で個性豊かな文化の創造」から“スポーツ”の表記がなくなったのは組織が変わるためという理解で良いか。

(事務局)

- スポーツの推進は第3次日向市総合計画の「産業・交流」に施策の位置づけを変更したことによるため、表記を修正しているところ。

(教育長)

- 基本方針1「未来を担う心豊かでたくましい人を育む基盤づくり」の“たくましい”の中に身体のことも含まれていると感じたがどうか。

(事務局)

- スポーツの表記がないことで、教育委員会の中から体育施策全般がなくなるわけではない。また、教育大綱の中にスポーツの表記を含めてはいけないといったこともない。

(教育長)

- 基本方針1「未来を担う心豊かでたくましい人を育む基盤づくり」の文章を一部修正してはどうか。

(事務局)

- 再度事務局で持ち帰らせていただき、修正の有無も含めて改めて提案させていただきたい。

(市長)

- それでは意見のあった事業について、事務局で再度検討し、書面にて決議を行うこと。また、それ以外の部分については承認ということよろしいか。

(全委員)

- 異議なし。

(2) その他

特になし。

<会議終了>